

2013年9月27日

厚生労働大臣  
田村 憲久 様

東京保険医協会  
会長 拝殿 清名

## 成人男女を対象とした公費による風疹予防接種の 早急な実施を求めます

新聞報道によれば、厚生労働省は 2014 年度予算の概算要求で妊娠を希望する女性とその家族のための風疹抗体検査の費用を計上し、来年度からの 5 年間、1 回約 5 千円かかる検査を国と自治体が半分ずつ負担し、無料で行えるようにするとしました。

しかし、風疹の抗体価が高い母親からも先天性風疹症候群（CRS）の発症が報告されており、集団の免疫レベルを十分に高めることで個人を守る（CRS 発症を防ぐ）という感染症予防対策が必要です。

今回の風疹大流行は患者の 8 割以上が 20 代から 40 代で、男性を中心に広がっているのが特徴です。これは 23 歳以上の男性には予防接種の機会がなかったことと、麻しん風疹ワクチンの 4 期の接種率が悪く、免疫がない人が多いためと指摘されています。都の調査では、職場での感染が 41.2%（東京都感染情報センター）と家庭内以外での感染が多いことが示されています。さらに女性も一回の接種では不十分であり、接種を受けていない人も多いことから CRS の発症につながっています。

したがって、成人男女へ風疹ワクチンの予防接種をすることで社会全体が免疫力を持つことは国が取るべき最上の対応であり、風疹、CRS の制圧に必要な条件でもあります。これは幼児期からワクチン接種を始め、成人の予防接種を推進することで風疹を撲滅してきた米国などの事例を見ても明らかです。

よって、私たちは CRS を根絶させるために、以下の施策を緊急に実行するよう国に求めます。

### 記

1. CRS を根絶させるため、20 代から 40 代のすべての男女が無料で風疹の予防接種を受けられるように緊急の措置を講ずること。

以上